

商業科 学習指導案		
単元名	第12章 固定負債 「財務会計Ⅰ」	
単元の目標 (単元で育成する資質能力)	①固定負債について理論と実務とを関連付けて理解するとともに、関連する技術を身につけること。 ②固定負債に関する法規と基準および会計処理の方法の妥当性と実務における課題を見いだし、科学的な根拠に基づいて課題に対応すること。 ③固定負債について自ら学び、適切な会計情報の提供と効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組むこと。	
具体的な評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>社債の発行・利払い・評価・償還の処理をすることができる。</li> <li>退職給付引当金の処理をすることができる。</li> <li>偶発債務の処理をすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>固定負債の意味および種類を理解することができる。</li> <li>社債の処理方法を理解することができる。</li> <li>退職給付引当金の処理方法を理解することができる。</li> <li>偶発債務の処理方法を理解することができる。</li> <li>固定負債に関する例題や演習問題に対して、ペアで意見を交換しながら考えたり、判断したり、表現したりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>主体的に、固定負債の意味および種類を理解したり、固定負債に関する処理方法を理解し、処理をしようとしていたりしている。</li> <li>固定負債に関する資料を、興味・関心をもって読み解き、活用しようとしている。</li> <li>固定負債に関する処理方法について、自ら思考を深め、知識と技能を活用して適切に判断し、表現したり、例題や演習問題に対して、ペアで意見を交換しながら考えたり、判断したり、表現しようとしていたりしている。</li> </ul>

単元計画			
次	時	評価規準と評価方法	学習活動
1	1	<b>【評価規準】</b> 固定負債の意味および種類を理解することができる。 (思考・判断・表現) (主体的に学習に取り組む態度) <b>【評価方法】</b> 行動の観察・記述の観察	流動負債との違いを考える。また、固定負債の種類について学習する。
2		<b>【評価規準】</b> 社債の発行・利払い・評価の処理方法について理解し、処理をすることができる。 (知識・技能) (思考・判断・表現) (主体的に学習に取り組む態度) <b>【評価方法】</b> 行動の観察・記述の観察	社債の発行・利払い・評価に関する資料を読み、ペアで意見を交換しながら、仕訳を完成させる。特に、償却原価法についてしっかり学習する。
	2	<b>【評価規準】</b> 社債の償還の処理方法について理解し、処理をすることができる。 (知識・技能) (思考・判断・表現) (主体的に学習に取り組む態度) <b>【評価方法】</b> 行動の観察・記述の観察	社債の3つの償還方法(満期償還・抽選償還・買入償還)について理解し、資料を読み解き、ペアで意見を交換しながら、仕訳を完成させる。特に、買入償還についてしっかり学習する。
3 4 5	3	<b>【評価規準】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>長期借入金の意味を理解することができる。</li> <li>退職給付引当金や偶発債務の意味や処理方法について理解し、処理をすることができる。</li> </ul> (知識・技能) (思考・判断・表現) (主体的に学習に取り組む態度) <b>【評価方法】</b> 行動の観察・記述の観察	長期借入金・退職給付引当金・偶発債務について理解し、資料を読み解き、ペアで意見を交換しながら、仕訳を完成させる。